

スタートアップと市役所が協働する、地域課題解決プロジェクト 「Urban Innovation TOYOHASHI」参加スタートアップ決定

豊橋市では、昨年度に引き続き「Urban Innovation TOYOHASHI（アーバンイノベーション豊橋）」を実施し、全国のスタートアップから課題解決策の提案を募りました。このたび、ウェブサイトから応募を受付けた延べ 27 社に対して書類選考および面談を実施し、実証実験に取り組む 2 課題 2 社を採択しましたので、お知らせします。

ポイント 今年度の採択課題と企業が決まり、実証実験に取り組みます

《プロジェクト①》 期日前投票所・駐車場の混雑を解消し、快適な投票環境を作りたい！
(応募 5 件)

担当課：選挙管理委員会

採択企業：株式会社センサーズ・アンド・ワークス
(兵庫県神戸市)

提案概要：赤外線センサーを使って人の流れを把握し、期日前投票所・駐車場の混雑状況を数字、グラフ等で可視化し、ウェブサイトで発信を行うことで、投票所の混雑の解消など、3密を防ぐ。今秋予定されている、衆議院議員選挙にて、実証を予定

《プロジェクト②》 子どもや家庭の健やかな成長と明るい未来のために、AIの活用で児童虐待に立ち向かいたい！ (応募 7 件)

担当課：こども若者総合相談支援センター ココエール

採択企業：株式会社カナミックネットワーク (東京都渋谷区)

提案概要：相談記録のテキスト分析による児童虐待の予兆検知を行い、虐待リスクの早期発見・可視化を行う



2017年10月衆議院選挙総選挙での投票所の様子



ココエール職員が集まり、家庭介入や支援に向けた方針を議論する緊急受理会議の様子

参考：事業の流れ

いまここ
ポイント

<事業の流れ>

課題公開 → スタートアップからの提案 → 選考・マッチング
→ 実証実験 → プロトタイプの構築 → 本格導入の検討 → 実装

問合先 産業部地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3089）